



薄地の遮熱性能を表す統一基準

遮熱

遮熱マークとは

一般の薄地と比較して遮熱効果が認められ、一般社団法人インテリアファブリックス協会(NIF)に定められた「カケンレフランプ法」の判定基準に適合する薄地カーテンに表示することが可能なマークです。

■ カケンレフランプ法

- 1.熱線受光体の約5mm上に試験体を保持しさらにその上約5mmにガラス板を設置し試験体とする。
- 2.指定側面からランプ(100V500W)を約50cmの距離で15分間照射して熱線受光体の表面温度をサーモカメラを用いて経時的に測定する。
- 3.試験は試験体とプランクの位置を入れ替えて2回測定し、平均値を試験結果とする。
- 4.プランクとして試験片なしの試験体を対角線上に設置し、同時に測定を行い遮熱率を算出する。

判定基準

項目	判定基準
遮熱率	25%以上(小数点第1位四捨五入)
透光率	99.4%未満(彩光率0.6%以上)

$$\text{遮熱率(\%)} = \frac{\text{プランク上昇温度} - \text{試料の上昇温度}}{\text{プランク上昇温度}} \times 100$$

夏ECO 室温上昇を抑える薄地カーテンの遮熱性能をランクで表示

夏ECO
20%以上
ランクB+

夏ECO

各動員は、シミュレーションプログラム(P.33参照)によって算出した数値であり、保証値ではありません。目安としてご活用ください。

ボイルやレースなどの薄地カーテンは太陽光による室温上昇を緩和し、夏の冷房効率を高め、省エネルギーにも役立ちます。明るさを取り入れつつ、遮熱効果を高めたい場合の目安としてご活用ください。

■ 夏ECO ランク

ランク	夏ECO 20%以上 ランクB+	夏ECO 15%以上 ランクB	夏ECO 15%未満 ランクC	
省エネルギー効果 カーテンなしとの比較	低減効果	20%以上	15%以上	15%未満
	省電力消費	-91 kWh	-71 kWh	-40 kWh
	電気料金	-2,457 円	-1,917 円	-1,080 円
	CO ₂ 排出量	-34 kg	-26 kg	-15 kg

カーテンなしの場合
消費電力量: 405kWh 電気料金: 10,935円 CO₂排出量: 151kg
*電料料金は、2014年度 20年計画 日本企業環境報告書に基づき、財団法人日本電業協会による電力単価にて算出

■ 温度差シミュレーション

